

消化器・代謝内科研修コース（第一内科）

研修コース責任者：茶山 一彰（消化器・代謝内科学 教授）
（広島大学病院 消化器・代謝内科長）

1. コースの概要

初期研修修了後、消化器・代謝内科領域の内科専門医を目指すコースです。主として大学病院消化器・代謝内科および第一内科消化器・代謝内科系関連病院から構成されています。初期研修修了後は下記の関連施設にて平均 2-3 年間の専門研修を行い、まず総合内科医としての知識を深め、内科認定医を取得します。それと同時に消化器内科医としての臨床的基礎をつくります。研修病院の決定においては、各病院の詳細情報を提供した上で各自の希望を提出していただきます。さらには臨床能力の到達状況や社会状況に合わせ、研修病院を調整、決定します。また、内科診療での専門分野を決めかねている場合は、第一内科・第二内科合同研修コースとして広く内科各分野を研修することも可能です。

2. 構成病院群一覧（広島大学病院を除く）

1. 国立病院呉医療センター URL: <http://www.kure-nh.go.jp/>
消化器科 科長 高野弘嗣（肝臓）
2. 国立病院東広島医療センター URL: <http://www.hiro-hosp.jp/>
副院長 竹崎英一（消化器科、肝臓）
3. 県立広島病院 URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>
消化器内科 主任部長 隅岡正昭（消化管）
4. 広島市民病院 URL: <http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>
消化器内科 内科部長 大江啓常（消化管）
5. 安佐市民病院 URL: <http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/>
内科 主任部長 大越裕章（消化管）
6. 市立三次中央病院 URL: <http://www.miyoshi-central-hospital.jp/>
院長 中西敏夫（肝臓）
7. 中国労災病院 URL: <http://www.chugokuh.rofuku.go.jp/>
消化器科 部長 大屋敏秀（胆道・肝臓）
8. 呉共済病院 URL: <http://www.kure-kyosai.com/>
消化器科 医長 岡本志朗（消化管）
9. 広島記念病院 URL: <http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org/>
診療部長 隅井雅晴（消化管）
10. 済生会広島病院 URL: <http://www.saiseikai.com/>
院長 隅井浩治（消化管）
11. 済生会呉病院 URL: <http://www.urban.ne.jp/home/saisei/>
副院長 國田哲子（膵臓）
12. 広島赤十字・原爆病院
URL: <http://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/home/index.htm>
第一内科 部長 山本昌弘（総合診療）
13. 庄原赤十字病院 URL: <http://www.shobara.jrc.or.jp/>
院長 中島浩一郎（胆道・肝臓）
14. 尾道総合病院 URL: <http://www.hirokouren.or.jp/ohindex.htm>
診療部長 日野文明（脂質・肝臓）

15. 広島総合病院 URL: <http://www.hirobyo.jp/>
副院長 石田邦夫 (肝臓)
16. 広島鉄道病院 URL: <http://www8.ocn.ne.jp/~jrw-hhp/>
第一内科 部長 三重野 寛 (消化管)
17. マツダ病院 URL: <http://hospital.mazda.co.jp/>
消化器内科 部長 田村 徹 (肝臓)

3. 研修期間

研修期間は、基本的に2~4年間とします。卒後4年目以降（教室所属2年目以降）は、個々にアンケート調査を行い、本人の意向を重視した上で進路を決定します。

4. 定員

特に設けない。

5. 入局について

初期研修終了時に、基本的に第一内科への入局を基本とします。大学あるいは第一内科関連病院での消化器・代謝内科の専門研修をおこないます。

入局とは、互助会に所属するようなものです。お互い助け合いながら、生涯教育の場を適切に設定し、スキルアップ、診療のレベルアップを行ってゆきます。

6. 取得できる専門医、認定医について

本コースで取得することのできる専門医や認定医資格のある学会名は、
日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会、
日本肝臓学会 日本消化器がん検診学会 日本消化管学会
日本超音波医学会 日本大腸肛門病学会
などです。

学会入会後、一定期間研修の後、資格を申請します。規定は各学会で異なりますので、詳細は各学会にお問い合わせください。

7. 大学院について

講座名：広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻

先進医療開発科学講座 分子病態制御内科学

後期研修開始時、あるいは途中からの大学院に進学することも可能です。

さらに、がんプロ専門医取得支援コースに進学し、がん薬物療法専門医等の資格を取得することも出来ます。

8. 国内・国外への留学について

基本的には、希望すれば可能な限り留学できます。

国内・国外で交流のある研究室

- ・MD Anderson Cancer Center (USA)
- ・Mayo Clinic (USA)

- Albert Einstein 医科大学 (USA)
- カリフォルニア大学デービス校 (USA)
- オクラホマ大学 (USA)
- ロチェスター大学 (USA)
- NIH Huddinge 大学(USA)
- UCLA 数部門 (USA)
- ハノーバー医科大学 (ドイツ)
- ゲッチングン大学 (ドイツ)
- リオグランデ州立大学 (ブラジル)
- Espo Medical Center (フィンランド)
- フローニンゲン大学 (オランダ)
- Chang-Gung 医科大学 (台湾)
- カロリンスカ研究所 (スウェーデン)
- ハサヌッディン大学 (インドネシア)

- 東京大学医科学研究所
- 理化学研究所
- 虎の門病院 (臨床研修が主)
- 国立がんセンター
- 国立国際医療センター
- 川崎医科大学内科

9. 女性の医師への対応について

特に制限などの規定はありません。増加しつつある女性医師に対しては結婚、出産等、実情に配慮した後期研修、生涯研修を策定しています。

10. 後期研修後の進路について

後期研修終了後、到達目標の達成具合をチェックし進路を決定します。不足分は、関連病院および大学病院でさらに研修可能です。その後の専門研修は主に広島大学で行います。大学では先ず医員として臨床の経験を十分なものとし、さらに大学院に進学し、学位を取得します。

11. 大学医局に関する情報 (研究室の構成：消化器・代謝内科)

(1) 所属医師数

総数：	77名		
男性：	65名	女性：	12名
教授以外の教員：	18名	医科診療医：	18名
大学院生：	40名	研究生：	0名

(2) 各研究室の構成

研究室名	専門分野・研究テーマ	チーフ名 (役職)	構成人 数
肝臓研究室	(1) ウイルス性肝炎および肝臓腫瘍に関する基礎的、臨床的研究 (2) 肝臓における胆汁酸および脂質代謝に関する基礎的、臨床的研究 (3) 肝細胞癌の経皮的治療, 化学療法	茶山一彰 (教授)	23人
消化管研究室	消化管腫瘍、酸関連疾患および炎症性腸疾患に関する基礎的、臨床的研究 / 消化管ホルモン・酸分泌機構の病態解明 / 消化器内視鏡学 / 消化管機能生理学 / 消化器検診	田中信治 (教授)	36人
膵臓研究室	膵・胆道腫瘍に関する基礎的、臨床的研究	佐々木民人 (講師)	11人

帰学1年目の11名は1年間各グループをローテートして、その後研究室を決定する。

(3) 教室スタッフ (第一内科)

教授 : 茶山 一彰 (肝臓)
 教授 : 田中 信治 (消化管・内視鏡診療科)
 准教授 : 北台 靖彦 (消化管)
 診療准教授 : 伊藤 公訓 (消化管)
 講師 : 佐々木民人 (膵臓)
 講師 : 相方 浩 (肝臓)
 講師 : 高橋 祥一 (肝臓)
 診療講師 : 上野 義隆 (消化管・内視鏡診療科)
 講師 : 川上 由育 (肝臓・臨床試験部)
 診療講師 : 兵庫 秀幸 (肝臓)
 助教 : 日山 亨 (消化管・保健管理センター) 助教 : 今村 道雄 (肝臓)
 助教 : 吉田 成人 (消化管・内視鏡診療科) 助教 : 平松 憲 (肝臓)
 助教 : 岡 志郎 (消化管・内視鏡診療科) 助教 : 脇 浩司 (肝臓)
 助教 : 芹川 正浩 (膵臓)
 助教 : 柘植 雅貴 (肝臓・自然科学研究支援開発センター)

(4) 教室の特色

理 念

自由に活動できる。
臨床と研究の両立をはかる。

研 究

消化器・代謝内科学の領域において、産業界に貢献すべく臨床および基礎研究を行っている。その成果を国内だけでなく世界に向けて発信している。

臨 床

消化器・代謝内科学における、一般的、先進的な診断技術および内科的治療手技を習得できる。特に、治療手技においては、消化管腫瘍に対する ESD などの内視鏡的治療、肝腫瘍に対する RFA などの経皮的治療やカテーテル療法、膵・胆道腫瘍に対する内視鏡的、経皮的な検査、治療手技について、基本から最先端技術まで学ぶことができる。また、近年急増している生活環境病を対象とした代謝性予防医学についても学習できる。

(5) 最近の教室所属者数

	合 計	広大卒(男)	広大卒(女)	他大学卒(男)	他大学卒(女)
平成 18 年度	16 名	6 名	1 名	6 名	3 名
平成 19 年度	19 名	7 名	3 名	8 名	1 名
平成 20 年度	8 名	4 名	1 名	2 名	1 名
平成 21 年度	11 名	5 名	1 名	1 名	4 名
平成 22 年度	12 名	3 名	1 名	5 名	2 名
平成 23 年度	18 名	4 名	3 名	6 名	5 名

(6) 大学院への最近の進学状況

平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
11 名	17 名	11 名	8 名	9 名	12 名

(7) 大学院在学中の収入 (年収)

約 60 万円以上/月

(8) 大学院生の卒後の進路について

希望によって対応します。
多くの場合は、国公立の関連病院に紹介し、勤務します。
研究を希望する方は、国内外の研究施設に留学する場合があります。

(9) 教室の今後の展望

- 1) 基礎研究に関するインフラを整備してきており、世界的レベルの研究業績を出し続けることを目指しています。
- 2) 基礎研究で得られた成果を臨床応用することを目指しています。
- 3) 基礎研究、臨床応用で得られた物質的、知的あるいは技術財産について、出来るだけ多く特許出願することを目指しています。

- 4) 消化器・代謝領域における先進医療を目指しています。
- 5) 初期研修において、スーパーローテーションを見据えた消化器・代謝領域の研修プログラムを作成しています。

(10) 教授のプロフィール

茶山 一彰 (ちややま かずあき) 55 歳
昭和 56 年 3 月 広島大学医学部医学科 卒業
昭和 56 年 5 月 医療法人同仁会耳原総合病院内科
昭和 61 年 4 月 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科
平成 08 年 7 月 国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科 医長
平成 12 年 9 月 文部科学教官教授
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻
先進医療開発科学講座 分子病態制御内科学 (旧内科学第一講座)
平成 13 年 9 月 理化学研究所 ゲノム医科学研究センター・疾患関連遺伝子研究グループ 消化器疾患研究チーム・チームリーダー (兼任)
平成 23 年 4 月 広島大学病院長

専門分野：消化管、肝胆膵疾患の診断と治療。

慢性肝炎、肝癌の治療、肝炎ウイルスの研究、消化器癌の研究、ゲノム解析。ヒトゲノムの多型と疾患、治療効果の関連の解析。

コース全体図



連絡先：

教室長：伊藤 公訓 副教室長 佐々木 民人

教室連絡先 Tel：082-257-5191 E-mail：naika1@hiroshima-u.ac.jp

Fax：082-257-5194 URL：http://home.hiroshima-u.ac.jp/naika1/